

<b>科目名：歯科矯正学</b> ( Orthodontics ) 履修年次/時期：2 年次 前期                      授業形態：講義 担当教員：山内雅人（実務経験有）		必	1 単位 (45 時間)
学修目的	現代歯科医療において不正咬合に対する歯科矯正治療の必要性は高まっている。歯科衛生士と歯科医師が基本的な知識を共有し協働的診療を進めるために、口腔・頭蓋・顎顔面の発生と成長発育、正常咬合・不正咬合、矯正診断の流れと診察・検査方法と、矯正力による生体反応、各種矯正装置の基本構造、適応症および作用機序、各種不正咬合の基本的治療法と必要な手技と器材を理解する。本講座は歯科矯正治療上、歯科衛生士に求められる知識、手技を把握し、さらに口腔衛生、食生活指導、口腔周囲筋の訓練などの基礎力を学ぶ事を目的とする。本科目は CP(2・3・4)に関連する。 科目 No.S2C09H09		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	◎
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	
(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。			
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	1. 矯正歯科治療の目的を理解する。 2. 正常咬合の概念、不正咬合の種類、分類法、原因、予防法および障害を理解する。 3. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生と成長発育およびその異常を理解する。 4. 矯正歯科治療における診断の流れと診察・検査方法を理解する。 5. 矯正力によって生じる生体反応を理解する。 6. 各種矯正装置の基本構造、適応症、作用機序を理解する。 7. 各種不正咬合の基本的治療法と必要な手技と器材を理解する。		
授業概要	本講義では、歯科矯正治療の概要を実際の症例の治療前後のスライドを豊富に用いて教授する。成長期と成人に対する歯科矯正治療は、その目的や内容、期間が大きく異なり、求められる知識や手技もそれぞれ特徴がある。また、使用する装置によっても、その基本構造や適応症および作用機序のみならず細かい手技が異なっている。将来、実際の歯科矯正臨床に関わることを前提として、より頻繁に用いられる矯正装置とその治療法に求められる知識、技術の習得を本講義の目的とする。さらに歯科矯正治療中の口腔内の保健管理、口腔周囲筋の訓練などの知識、技術も習得する。 尚、診療補助論Ⅳの矯正歯科の回は、教科書 p127～154 に該当する範囲であり、演習を通じて内容を学んで頂く。従って、本試験は本講義ならびに診療補助論Ⅳの矯正歯科の回の内容から出題する。 各講義後に確認課題を提出して頂く。		
評価方法	筆記試験 (90%)、確認課題 (10%)。		

	提出課題に対するフィードバックは講義にて行う。
予習・ 復習時間	【予習】0.5時間 【復習】0.5時間
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学
参考書	随時紹介する
オフィス- 連絡先	山内：月～金 12:30～13:20、16:30～17:00（4号館2階研究室）yamauchi@kdu.ac.jp

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 ( )	歯科矯正学の概要 (1) 矯正歯科治療の目的を理解する (2) 矯正歯科の目標と流れを理解する (3) 矯正歯科の種類と開始時期を理解する (4) 矯正歯科のベネフィットとリスクを理解する (5) 矯正歯科とチーム医療を理解する (6) 矯正歯科治療における歯科衛生士の役割を理解する 確認課題	予習：教科書 p.2～11 を読んでおく 復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く。 キーワード：歯科矯正治療の開始時期、不正咬合による機能的、心理的障害、学校歯科検診、リスクファクター、チーム医療	山内
2 ( )	成長・発育 (1) 身体・頭蓋冠・頭蓋底・顔面頭蓋の成長発育を理解する (2) 歯列の成長発育について理解する (3) 口腔機能の発達について理解する (4) 確認課題	予習：教科書 p.13～22 を読んでおく 復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く。 キーワード：二次性徴年齢、思春期性成長促進、スキャモンの臓器別発育曲線、骨膜性成長、縫合性成長、軟骨性成長、乳児型嚙下、成人型嚙下	山内
3 ( )	正常咬合、不正咬合 (1) 正常咬合の概念を理解する (2) 正常咬合の形態的特徴を理解する (3) 不正咬合の形態的特徴を理解する (4) Angle の不正咬合の分類を理解する (5) 確認課題	予習：教科書 p.23～33 を読んでおく 復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く。 キーワード：理想咬合と正常咬合、隆線と溝の関係、咬合様式、下顎位、転位、傾斜、低位、高位、捻転、移転、叢生	山内
4 ( )	不正咬合の原因 (1) 不正咬合の先天的原因を理解する (2) 不正咬合の後天的原因を理解する (3) 不正咬合の予防を理解する (4) 確認課題	予習：教科書 p.33～37 を読んでおく 復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く。 キーワード：ハプスブルグ家、骨格的下顎前突、舌突出癖、口呼吸、母指吸引癖、吸唇癖、咬爪癖、早期喪失	山内
5 ( )	矯正歯科診断 (1) (1) 矯正診断に必要な検査を理解する (2) 顔面写真による顔面形態の評価方法を理解する (3) 矯正診断に用いる口腔模型を理解する (4) 矯正診断に用いるエックス線検査を理解する (5) 矯正診断に用いる機能的検査を理解する (6) 口腔模型を用いた症例分析を理解する (7) 成長分析を莉歌 (8) 確認課題	予習：教科書 p.38～48 を読んでおく 復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く。 キーワード：インフォームドコンセント、直顔型、凸顔型、凹顔型、E-ライン、鼻柱口唇角、手骨根エックス線写真、下顎運動検査、平行模型・予測模型、アーチリングディスクレパンシー、抜歯基準	山内

6 ( )	<p>矯正歯科診断 (2)</p> <p>(1) 頭部エックス線規格写真の撮影法を理解する</p> <p>(2) 頭部エックス線規格写真の計測点を理解する</p> <p>(3) 頭部エックス線規格写真基準平面を理解する</p> <p>(4) 確認課題</p>	<p>予習：教科書 p48～50 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く</p> <p>キーワード：撮影条件、トレース、計測点、基準平面</p>	山内
7 ( )	<p>矯正歯科診断 (3)</p> <p>(1) 頭部エックス線規格写真の角度的計測項目を理解する</p> <p>(2) 頭部エックス線規格写真の分析法を理解する</p> <p>(3) 確認課題</p>	<p>予習：教科書 p48～50 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く</p> <p>キーワード：SNA 角、SNB 角、ANB 角、下顎下縁平面角、上下中切歯歯軸傾斜角</p>	山内
8 ( )	<p>歯の異動と固定</p> <p>(1) 歯の異動に伴う組織変化を理解する</p> <p>(2) 最適な矯正力による歯の移動様相を理解する</p> <p>(3) 歯の移動様式を理解する</p> <p>(4) 矯正力の種類を理解する</p> <p>(5) 矯正力と移動歯、固定歯の関係を理解する</p> <p>(6) 確認課題</p>	<p>予習：教科書 p53～63 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く</p> <p>キーワード：圧迫側、牽引側、破骨細胞、骨芽細胞、停滞期、差動矯正力、傾斜移動、圧下、提出、持続的、間歇的、断続的、機能的、アンカースクリュー</p>	山内
9 ( )	<p>矯正装置 (1)</p> <p>(1) 矯正装置の分類法を理解する</p> <p>(2) 矯正装置の種類と構成を理解する</p> <p>(3) 矯正装置の使用目的と適用時期を理解する</p> <p>(4) 確認課題</p>	<p>予習：教科書 p 64～80 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く</p> <p>キーワード：可撤式矯正装置、固定式矯正装置、</p>	山内
10 ( )	<p>矯正装置 (2)</p> <p>(1) 矯正装置の分類法を理解する</p> <p>(2) 矯正装置の種類と構成を理解する</p> <p>(3) 矯正装置の使用目的と適用時期を理解する</p> <p>(4) 確認課題</p>	<p>予習：教科書 p64～80 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く</p> <p>キーワード：機能的矯正装置、拡大装置、顎外固定装置、口腔習癖除去装置、保定装置</p>	山内
11 ( )	<p>矯正治療の実際 (1)</p> <p>(1) 上下顎の前後的關係の不調和に対する矯正歯科治療を理解する</p> <p>(2) 上下顎の垂直的關係の不調和に対する矯正歯科治療を理解する</p> <p>(3) 確認課題</p>	<p>予習：教科書 p 82～92 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く</p> <p>キーワード：Ⅰ吸不正咬合、Ⅱ級 1 類不正咬合、Ⅱ級 2 類不正咬合、Ⅲ級不正咬合、過蓋咬合</p>	山内
12 ( )	<p>矯正治療の実際 (2)</p> <p>(1) 顎変形症に対する矯正歯科治療を理解する</p> <p>(2) 成人矯正歯科治療を理解する</p> <p>(3) 症候群に対する矯正歯科治療を理解する</p>	<p>予習：教科書 p92～112 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて確認課題を解く</p> <p>キーワード：外科矯正治療、施設基準、</p>	山内

	<p>(4) 歯の埋伏と歯数の異常に対する矯正歯科治療を理解する</p> <p>(5) 確認課題</p>	<p>歯槽骨レベル、包括的矯正歯科治療、 口唇・口蓋裂、鎖骨頭蓋異形成症、過剰施、6 歯以上の先天的部分無歯症</p>	
13 ( )	<p>口腔筋機能療法</p> <p>(1) 口腔筋機能療法の訓練を理解する(ビデオ視聴)</p> <p>(2) 口腔周囲組織のアセスメントを理解する</p> <p>(3) 舌突出癖に対する口腔筋機能療法を理解する</p> <p>(4) 口腔筋機能療法の効果を理解する</p> <p>(5) 確認課題</p>	<p>予習：教科書 p173～181 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントにより確認課題を解く</p> <p>キーワード：スポット、切歯乳頭、舌圧と口唇圧のバランス、正常嚥下と異常嚥下、発音</p>	山内
14 ( )	<p>矯正歯科患者と口腔保健管理</p> <p>(1) 小児患者・成人患者へのアプローチを理解する</p> <p>(2) 矯正治療におけるリスクファクターを理解する</p> <p>(3) ブラークコントロールに使う器具を理解する</p> <p>(4) ホームケア、プロフェッショナルケアを理解する</p> <p>(5) 確認課題</p>	<p>予習：教科書 p155～172 を読むこと</p> <p>復習：配布プリントにより確認課題を解く</p> <p>キーワード：QOL,既往歴、う蝕活動性試験、う蝕リスク判定、歯冠清掃、洗口、フッ素</p>	山内
15 ( )	<p>講義のまとめ</p>	<p>復習：教科書の範囲、全配布プリントと全確認課題、診療補助論Ⅳの矯正歯科の回の配布プリントを整理し、本試験に備える</p>	山内